

NEWS RELEASE

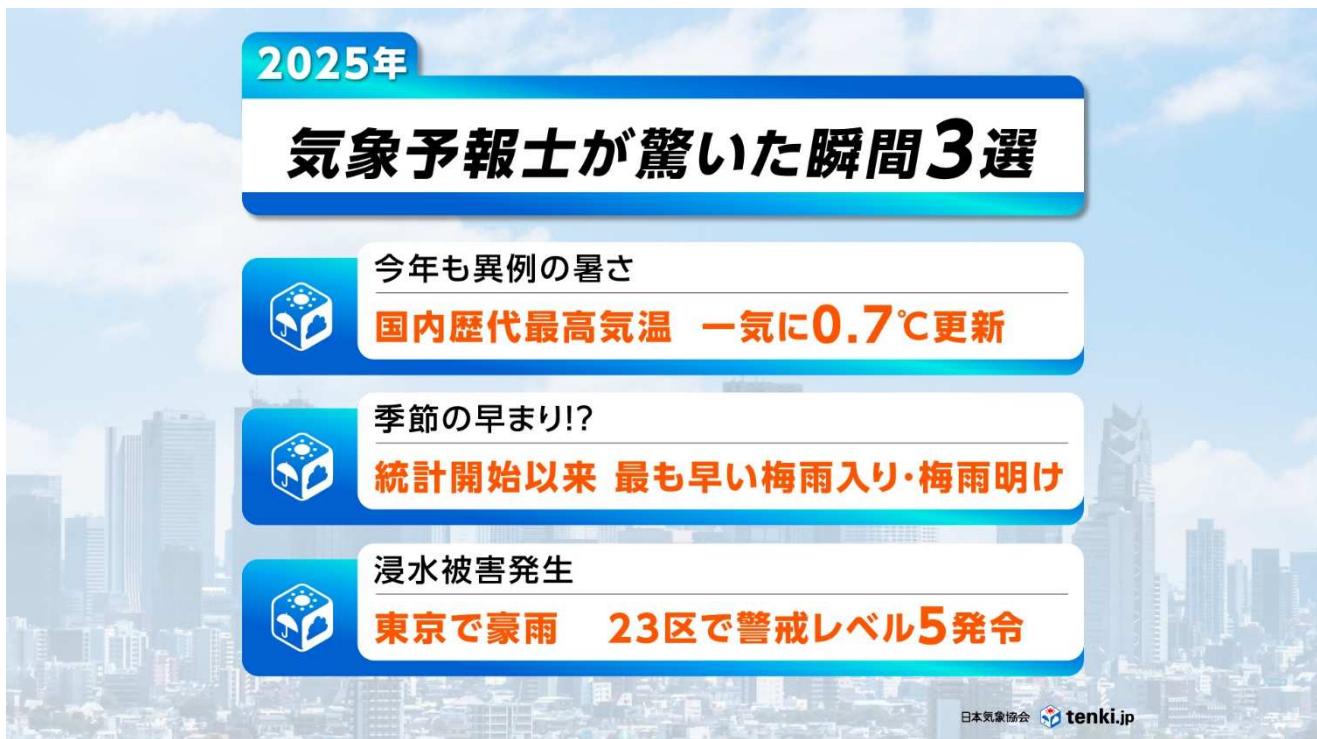
【報道関係各位】

2025年12月8日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会「2025年 気象予報士が驚いた瞬間3選」を発表

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:渡邊 一洋、以下「日本気象協会」)は 2025年12月8日(月)、「2025年 気象予報士が驚いた瞬間3選」を発表します。

「気象予報士が驚いた瞬間3選」は、今年から日本気象協会が実施する年末特別企画です。天気予報の現場では、科学的知見と予測技術に加え、経験に基づいた判断が求められます。しかし、自然現象である気象は、時にベテランの気象予報士でさえ「まさか!」と驚くような気象現象が発生することがあります。本発表では、2025年の顕著な気象の中から、気象予報士が特に驚いた3つの出来事を紹介します。



2025年

気象予報士が驚いた瞬間3選

- 今年も異例の暑さ
国内歴代最高気温 一気に0.7°C更新
- 季節の早まり!?
統計開始以来 最も早い梅雨入り・梅雨明け
- 浸水被害発生
東京で豪雨 23区で警戒レベル5発令

日本気象協会 tenki.jp

■「2025年 気象予報士が驚いた瞬間3選」

● 「国内歴代最高気温 一気に0.7°C更新」

2025年8月5日に、群馬県伊勢崎市で最高気温41.8°Cを観測し、国内最高気温を更新しました。

2024年までの国内最高気温は、埼玉県熊谷市(2018年7月23日)と静岡県浜松市(2020年8月17日)で観測された41.1°Cでした。今回の記録は、国内最高気温を一気に0.7°Cも上回る更新となりました。今夏は、7月30日に兵庫県丹波市柏原町で41.2°Cを観測した後、8月5日に群馬県伊勢崎市で41.8°Cを観測し、国内最高気温を大幅に更新しました。

国内歴代最高気温は、2007年に74年ぶりに更新されて以来、0.1°Cずつの小刻みな更新が続いていましたが、今年の0.7°Cという大幅な更新には、気象予報士の間でも驚きの声が上がりいました。

2025年の夏(6月~8月)は、日本の夏の平均気温の基準値(1991~2020年の30年平均値)からの偏差が+2.36°Cとなり、統計を開始した1898年以降の夏として1位の高温となりました。今夏の異例の暑さは、さまざまな要因が重なったことが原因です。

6月以降、平年であれば日本の本州付近の上空に位置するはずの偏西風が、北海道よりも北側に位置したことにより、チベット高気圧が日本付近に大きく張り出しました。さらに、太平洋高気圧が早いうちに張り出しを強めたことにより、日本付近で2つの高気圧が重なりました。これにより、日本付近は暖かい空気に覆われて晴れやすく、地上付近の気温が高まりやすい状況となりました。また、この状況に加えて、地球温暖化の影響による気温自体の上昇がもとからあり、気温の高まりを助長したこと、ここ数年顕著に高くなっている北半球中緯度帯の海面水温が大気を暖めたことなどもこの夏の高温に影響した可能性があります。

● 「統計開始以来 最も早い梅雨入り・梅雨明け」

2025年の梅雨入りは、九州南部から東北南部にかけて平年より大幅に早くなりました。特に、近畿と北陸では、1951年以降で最も早い梅雨入りを記録しました。関東甲信も、平年なら6月7日頃となる梅雨入りが今年は5月22日となり、記録的な早さとなりました。

梅雨明けも同様に、沖縄から北陸にかけて平年よりかなり早く、沖縄や奄美、九州北部から近畿、関東甲信と北陸で、1951年以降で最も早い梅雨明け(タイ記録を含む)となりました。この記録的に早い梅雨入り・梅雨明けについて、気象予報士からは「春から夏にかけての季節の歩みの早さは驚かされた」という声が上がりました。

こうした記録的に早い梅雨入り、梅雨明けの原因として、太平洋高気圧が早期に本州付近へ張り出しを強めたことがあると考えられます。

● 「東京で豪雨 23区で警戒レベル5発令」

2025年9月11日は、湿った空気と日中の気温上昇により、関東甲信を中心に大気の状態が非常に不安定となり、東京都心でも活発な雨雲が発生しました。東京都内では、世田谷区付近、目黒区緑が丘、大田区付近、品川区付近、港区付近で「記録的短時間大雨情報」が相次いで発表されました。局地的に猛烈な雨が降った影響で、大田区と品川区の複数地域では、警戒レベル5の「緊急安全確保」が発令される事態となりました。実際に品川区に住む気象予報士からは、「都市部ほど防災対策・防災整備が十分という安全神話が崩壊するほどの危険な雨を、東京で実感したことに驚いた」という声がありました。

天気予報専門メディア「tenki.jp(てんきじぇーぴー)」では、毎年年末に気象分野の1年を振り返る企画「お天気総決算」を実施しています。2025年の「お天気総決算」は、「今年の天気を表す漢字」と「気象予報士が驚いた瞬間3選」を発表しました。

「気象予報士が驚いた瞬間3選」の詳細や、「今年の天気を表す漢字*」に関する情報は、こちら(https://tenki.jp/suppl/tenkip_lab0/2025/12/08/32737.html)でご覧いただけます。

※ 日本気象協会 気象予報士120名に調査を実施 2025年の「今年の天気を表す漢字」は「酷」に決定

2025年12月7日 報道発表 <https://www.jwa.or.jp/news/2025/12/30181/>

■天気予報専門メディア「tenki.jp(てんきじぇーぴー)」 <https://tenki.jp>

日本気象協会が発表する気象情報を、Webサイト／スマートフォンアプリで提供している天気予報専門メディアです。年間ページビュー数は約59億PV(2024年4月～2025年3月実績／Webページ・スマートフォンアプリ合算)。生活中欠かせない天気予報に加え、専門的な気象情報、地震・津波などの防災情報も確認できます。日本気象協会に所属する気象予報士が、天気・防災に関するニュースを毎日提供する「気象予報士のポイント解説」も人気コンテンツです。

・「tenki.jp」は一般財団法人 日本気象協会と株式会社 ALiNKインターネットの共同運営です。

・「tenki.jp」は、一般財団法人 日本気象協会の登録商標(登録第6129427号)です。

・「tenki.jp」ロゴマークは、一般財団法人 日本気象協会と株式会社 ALiNKインターネットの登録商標(登録第5763293号)です。

・製品名、サービス名などは一般に各社の商標または登録商標です。

本情報を使用される際は、クレジット(「tenki.jp」調べ)と
サイトリンク(<https://tenki.jp>)を両方記載して下さい。